

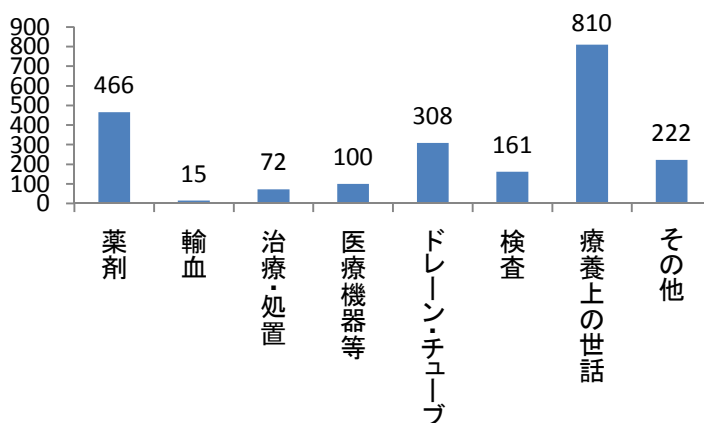
## (14) 医療安全管理室業務状況

### ①インシデント・アクシデントレポート集計

a. 職種別報告 (件数)

医師	86
看護職	1878
看護補助職員	17
薬剤師	58
臨床検査技師	22
放射線技師	13
栄養士	29
リハビリ	32
臨床工学技士	1
MSW	3
事務職員	15
合計	2,154

b. 報告概要分類



### ②取り組み、改善実績

No.	項目	立案日	実施日	改善・実施状況
1	手術室、麻酔使用時でのカラーシリンジ導入	3/5	5/7	同色薬剤を2種類以上使用する場合はカラーシリンジを使用することとした 例: 脊椎麻酔薬、局所麻酔薬、造影剤(ウログラフィン)、止血剤(ピトレシン)、染色剤(パテントブルー)
2	ラテックスアレルギーへの対応	5/1	8/31	全部署にラテックスフリーの駆血帯を導入。ラテックスフリー機器・製品リストを作成、マニュアル掲載し周知した。
3	持ち込みの人工呼吸器、CPAPの機器(経鼻的持続陽圧呼吸療法)の管理	8/15	10/31	持ち込みの人工呼吸器、CPAPの機器の管理について持ち込み時に臨床工学技士による点検、各部署での使用中の毎日の点検を実施。RST回診の対象とした。
4	スキンテア予防対策	6/1	8/10	スキンテア予防のために、新たにクッション性があり、消導薬で清拭できるベッド柵カバーと、車いすのフットレスカバーを各部署に配置した。
5	栄養部、パンの衛生管理方法の見直し	7/28	8/27	夏季(7月～9月)は、パンは別室で温度調節し保管するようにした。
6	がん化学療法総投与量に上限のある薬剤についての対応	8/3	9/7	がん化学療法マニュアルに「総投与量に上限のある薬剤一覧」と「適格基準」を掲載した。
7	安全機構付きインスリン針の導入	10/17	1/15	全部署で、説明会実施後、安全機構の付いたインスリン針を導入
8	週1回投与のGLP-1作動薬(注射薬)トルリシティの取り扱い	11/4	12/19	GLP受容体作動薬(注射薬)の取り扱いについてを作成薬剤部のHPに掲載
9	気管切開術後の初回の気管切開チューブの交換時期の見直し	12/20	1/10	医療事故調査・支援センターの医療事故再発に向けた提言を受け止め、外科、耳鼻科と話し合い、今後術後初回の気管切開チューブ交換時期は、2週間とした。
10	病理検査ラベルの提出、確認	11/9	1/25	電子カルテシステムとして、依頼入力後病理室でも検査指示の用紙が自動でプリントアウトされるようにし、病理室でも検査提出があることの確認ができるようにした。
11	指差し呼称の推進	9/13	11/1	日頃から指差し呼称を行い、業務を安全確実に実施するために、各部署、指差し呼称を行う業務を決め、11/1～1/31を強化